

令和3年度 第6回社会教育委員及び公民館運営審議会委員会議（会議録）

日時：令和4年3月15日（火）午前10時

場所：文化センター 3階 講習室5

出席： 笥委員長（文化団体）、藤原副委員長（体育団体）、眞柄委員（人権教育団体）、藤田委員（女性団体）、松本委員（市民公募）、金子委員（市民公募）
佐野次長（生涯学習センター館長）、八十島課長（文化財保護課長）、佐野館長（図書館）、山口（生涯学習センター職員）

（事務局）小橋教育長、辻教育部長、（社会教育課）辻課長、荻野、鳥居

欠席： 北委員（学識経験者）、羽野委員（学校）、高橋委員（青少年育成団体）、赤松委員（PTA）

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 教育長挨拶
4. 議事（事務局説明）

今後の行事予定

- 「第5回徒然草エッセイ大賞授賞式」

日時 令和4年3月19日（土）午後2時～3時

場所 仁和寺 御室会館 大広間

出席 笥委員長、藤原副委員長

- 令和4年度社会教育事業予定

【事務局】

山城教育局より別紙予定表が届いているため配布させていただいている。

空白となっておりますが、本日山城教育局より一部日程が決まったとのメールがあったため資料として加えさせていただきました。

直近で委員の皆様に出席いただく可能性のあるものだけお伝えさせていただく。

令和4年6月10日（金）宇治市生涯学習センター

山城地方社会教育委員連絡協議会 総会

令和4年6月24日（金）南丹市園部文化会館（アスエルそのべ）

京都府社会教育委員連絡協議会 総会

令和4年9月2日（金）奈良市なら100年記念館・ホテル日航奈良

近畿地区社会教育研究大会奈良大会

令和4年11月25日（金）アグリセンター大宮（京丹後市）

京都府社会教育委員連絡協議会 研究大会

5. 議題

- ①令和3年度の公民館・コミュニティセンターの事業実績と令和4年度の事業方針につ

いて

【生涯学習センター】資料1～3

はじめに資料3「令和4年度公民館等事業の基本方針について（案）」について以下のとおり訂正をお願いいたします。

- ・ 2 令和4年度公民館事業計画（案）
3行目 「終息」→「収束」
- ・ ③ 感染症対策について
1行目 「終息」→「収束」
2行目 「基づき」→「そって」

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国や京都府、八幡市新型コロナ対策本部の方針や、公民館の上部団体である全国公民館連合会が定めた「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、3密（密閉、密集、密接）の回避、マスクの着用、手指の消毒等、感染症対策を実施しながら、施設運営及び主催事業を行いました。

（資料1を説明）

公民館・コミュニティセンター利用の前年度対比表でございます。

令和4年、1月末現在の総利用件数は、7,699件、総利用者数が74,713人となり、前年度同期と比較して、件数では1,192件、18%の増、人数では12,652人、20%の増となりました。

増加した理由は、令和2年度の新型コロナウイルス感染拡大による影響が非常に大きかったためであると考えます。前年度比では増加となっておりますが、令和元年度と比較すると総利用者数で39%減少となっております、いまだに大きな影響が残っているとみられます。

（資料2を説明）

令和4年1月末現在の公民館講座延参加人数一覧表でございます。

1月末現在の総件数は、53件、総回数80回、総利用者数が814名となりました。前年度の同時期と比較して総件数では20件の増、総回数では27回の増、総人数では299人の増となっております。

講座につきましても、感染症の影響を強く残しており、開催回数や参加人数ともに例年より減少しておりますが、感染拡大防止策のある程度の確立により、参加人数上限を半数に制限しながらも開催できた講座が多くありました。

（資料3を説明）

令和4年度の公民館等事業の基本方針（案）について、でございます。

コロナにより、社会のあり方が大きく変化しました。どんなに変化しても、人づくり地域づくりは、人と人のつながりが必要です。このことから引き続き、ともに支えあう「共生のまち やわた」の新たな担い手による地域づくりを進めるために、「つどう」、「まなぶ」、「むすぶ」、「つくる」、「さがす」という5つを基本に、次の方針で事業を進めます。

○2枚目の「2の①の事業方針」の部分をご覧ください。

令和4年度公民館事業計画（案）の①令和4年度事業方針について
来年度も引き続いて、下記の（1）～（10）の事業方針に基づいて、公民館事業を進めたいと考えます。

各種講座の開設を行ない、令和3年度に申込人数が多い講座は、引き続き実施し、あまり人気のなかった講座は取りやめるなど、各館で検討します。

令和4年度の施設整備につきましては、市議会で予算案が可決いたしましたら、山柴公民館の敷地内にあります点字ブロックの補修など、破損や老朽化してきた設備について修繕し、より安心して施設利用していただけるようにしてまいります。

以上でございますので、次回会議で令和3年度事業報告書と本日のご意見を踏まえた令和4年度事業計画書を配付する予定です。皆様のご意見をいただきたいと思っております。

【筧委員長】

ただいまの説明について、ご意見はございますでしょうか。
眞柄委員いかがでしょうか。

【眞柄委員】

一番最後の施設整備について、備品類更新や充実って書いているんですけど、具体的には、どういった感じになるんですか。

【生涯学習センター】

現在一番危険と考えているのが、山柴公民館の点字ブロックでございます。
公民館の駐車場入口から点字ブロックが続いているんですが、そこにゴミ収集車など大きな車が旋回することがあり、これが点字ブロックを踏みかなり破損している状況であり、安全面を考慮して更新を計画しているところでございます。

【眞柄委員】

では、他の施設も同様に危険なところを更新いただけるということですね。

【生涯学習センター】

そのとおりです。

【筧委員長】

藤田委員いかがでしょうか。

【藤田委員】

資料2で見させていただいたんですが、どういう講座で多くの方がいらっしゃるのかなって思ってみさせていただきました。

私は、川口コミュニティセンターの「布の干支作り」に参加したんですけど。家からだいぶ遠かったんですが、大変面白いなと思ひまして。こういった講座を続けてほしいと思ひました。

それから、料理教室も実施されているんですけども、そこで飲食というのはできないんじゃないかなと思ひているんですけど。私は食改にも入っているんですけど、そういった場所がなくって、お料理を作れる調理室なんか全部コロナでダメになってしまっているんで、男山公民館で実施されているので利用させてもらってもいいのかなって思ひています。

【藤原副委員長】

すいません、僕も2年前に講師をされていたのが、僕の中学校の同窓生で声をかけてもらって、一年間男山公民館の男の料理教室に通って、案外楽しかったんです。

ちょうど作り終わって、ワイワイガヤガヤしゃべりながら食べるのが楽しかったんですけど、いまは作ったら持って帰るだけですか。

【生涯学習センター】

そうですね。食べることもありますが、黙食であったりします。

【藤原副委員長】

(その当時) いろんな人がいて、私みたいな人から、子ども連れのお母さんまでいろんな人が作り終わって、食べてるのがめっちゃ楽しいというか。

【生涯学習センター】

いまは、ワイワイ言いながら食べるのがどうしても難しい。

【筧委員長】

松本委員いかがでしょうか。

【松本委員】

当然事務局といいますか、担当の方はコロナで非常に悩まれていると思うんですけども。私も、京都府の講座に月に何度か行く機会がありまして、去年度はやっぱり変更が多かったんですけども、今年度は全部ありました。ということと、先ほど食べ物のお話が出たんで、実は大阪のB級グルメの検定を受けてみまして、作る交流会が先週あったんですよ、大阪で。当然食べることはないかなって思ったんですけど、今年は食べますということで、食べさせていただいてよかったんですけど。それで、大声でしゃべらない、飛沫が飛ばないことを注意すれば、かなりの講座とかですね、当然講座の中止などあったと思うんですけど、その実績を踏まえて緩和をされることを考えていただきたいなど。コロナのこともだいぶ解ってきたと思うんで、こうしたら危ないよ、ということと他の自治体の方の実績もあると思うんです。こういう講座のときに感染は無かったとか、逆に残念な結果があったとか、そういう実態を公にされて募集をされたらどうかと思います。

【金子委員】

生涯学習センターの管理施設は。

【生涯学習センター】

公民館は市内に4館。コミュニティセンター2館。その6館を生涯学習センターという一つの大きなところが所管しているという形でございます。

生涯学習センターの館長が、管理している。

【金子委員】

わかりました。それで、(資料3) 施設整備のところなんですけど、生涯学習センターはひと館になりますよね。夏に行きますと、皆さん暑いから図書館に涼みがてら来られる方が多いかなと思うんですけど、椅子がありますね、それがほとんど居眠りされている方が多いんですね。それでその椅子を増やす方法はないのかなというのと、注意という言いすぎですが、居眠りする場所じゃないとそれとなく柔らかい感じで促してはどうかなと思っています。

【生涯学習センター】

長い間座っている方がいらっしゃれば、たまには代わっていただきたいと思うところなんですけど、実は生涯学習センターの全体の建物のハード部分を管理しているのは、生涯学習センターなんですけれども、図書館につきましては、男山図書館と八幡市民図書館と2館あり、それを管理しているのは図書館長になります。

生涯学習センターとしましては、図書館利用者が席がなければ、生涯学習センターに来ていただくことも可能かなと思うんですけど、昨年4月からセンターに着任させていただいておりますが、椅子については撤去をしている方針がございまして、それはコロナの感染で密を避けるという意味ですね。それは、必要最低限の本を借りたら帰っていただくという風に考えている。また、私どものほうでも、朝から夜まで勉強をしに来る学生さんが利用される学習スペースというものがあるんですが、同じまん延防止の期間であっても、感染者の増減の状況を見ながら、座席の増減など検討していく必要があります、市民の皆様にご不便をかけることになるが、ご容赦いただきたい。

先ほど「布の干支作り」の話もありましたが、体験教室などコロナの関係上どうしても人数制限しなければならなかったが、市民が体験して学ぶということは、非常に大切に、公民館にはそれを担ってもらいたいそのためにも運営員の皆様のご協力をお願いいたします。

また、山城地域や京都府などの公民館連絡協議会関係会議等の日程がわかれば、今後の定例会でお示しいたします。

【図書館】

先ほどのイスの関係ですが、コロナになってから半分以下に減らしています。その関係もあると思いますが、長時間おられるという方もいておられる。八幡市民図書館でも、開館から長時間おられる方もいると聞いております。ただせっかく来ていただいている方に、長時間座ってるというだけでは声をかけにくい。ただし、あまりにもひどい方がおられれば、職員に言っていただければ対応させていただきます。

【寛委員長】

私は、文化協会で合唱を担当しているんですが、公民館での練習は大丈夫なんですけど（コロナの関係上）学校関係がなかなか練習が出来ないと聞いている。全日本合唱連盟も、連盟のガイドラインを順守してほしいとの通達がありますが、教育委員会としてのお考えを聞かせていただきたい。

【辻教育部長】

学校の方は、基本国または京都府から、授業やクラブ活動について細かく指導が出ておりそれにそってさせていただいている。当初、合唱については指導がなかったが、2年も経つてくるとだんだん細かい指導が出てきまして、いま厳しい対応になってしまっています。これもまたまん延防止措置が解除されましたら、京都府から指導が来まして、最終的には市の判断になるんですけれども、たぶんこの市町の教育委員会も府の対応にそって判断していくことになると思います。濃厚接触にあたるのは、マスクを外して至近距離で15分しゃべっているかという判断になるため、まん延防止措置が解除されれば、合唱用のマスクの着用などで緩和されるのではなかろうかと考えておるところでございます。

【笥委員長】

山城合唱コンクールの開催を検討する際も、控室で密になる可能性があることがネックになっていた。

早くこの状況がよくなればと思っています。

②「スキルアップ学習会」について

【事務局】

資料の講師リストを参考に、講演の希望がございましたら、講師については事務局でリサーチを行います。次回以降の会議で決定していただくようお願いします。

※本定例会では、意見なし。次回持ち越し。

6. その他

※特になし

次回定例会 日時：令和4年5月 日（ ）午前 時～

場所：

※日程、場所が決まりましたらまたお伝えさせていただきます。